

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

2 型糖尿病患者におけるチルゼパチドの治療効果と治療継続性に対する既存治療内容の影響の検討

[研究責任者]

江南厚生病院 内分泌・糖尿病内科 有吉陽

[研究の概要]

チルゼパチドは GLP-1/GIP 受容体作動薬として新たに登場した薬剤であり、既存のインクレチン関連薬よりも強い血糖効果作用と体重減少作用が報告されています。しかし、既存の GLP-1 受容体作動薬の使用により多くの患者様が一定の効果を得ている状況では、切り替えることで、どの程度有効なのかは検証が必要です。また、チルゼパチドの消化器症状の発現率は他剤に比較して必ずしも高率ではないですが、その頻度の検証と、逆に他剤中断歴があっても本薬剤では治療継続可能な場合があり、その有用性を検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2024 年 5 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日までの期間中に、当院にてチルゼパチドを新規に処方された患者で、電子カルテより HbA1c、内服継続の有無等の情報が得られる方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、併用薬剤、導入時の身長・体重 消化器症状の有無、治療開始後の血糖、HbA1c、肝機能などの代謝パラメータ 等 [個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 内分泌・糖尿病内科 有吉陽

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337